

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、家庭状況等主として環境上の理由により、児童福祉法に基づいて、里親に委託されている児童、養護施設、情緒障害児短期治療施設、教護院及び乳児院に措置されている児童、母子寮に措置されている母子世帯の児童並びにその保護者の実態を明らかにして、要保護児童の福祉増進のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

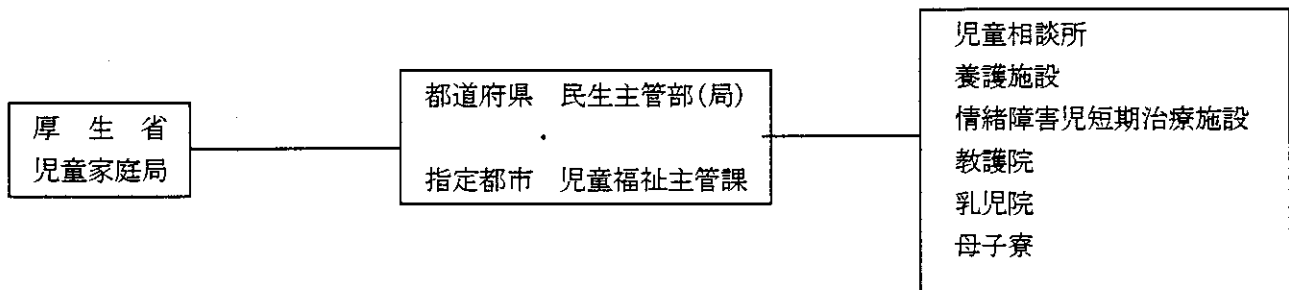
全国の里親委託児童、養護施設の入所児童、情緒障害児短期治療施設の入所児童、教護院の入所児童、乳児院の入所児童及び母子寮の児童並びに保護者を対象とし、その全員を調査客体とした。

客体：里親委託児童 2, 175人
養護施設入所児童 26, 979人 (内、中学3年以上の年長児童 6, 549人)
情緒障害児短期治療施設入所児童 623人
教護院入所児童 1, 920人 (内、中学3年以上の年長児童 955人)
乳児院入所児童 2, 720人
母子寮入所世帯 4, 233世帯 及び 当該児童 6, 840人

3 調査の時期

平成10年2月1日

4 調査の方法



5 結果の集計

結果の集計は、大臣官房統計情報部の協力を得て児童家庭局において行った。

6 観察上の注意

この調査は、すべて全数調査であり、以下の統計数字は実数値である。

なお、平成9年の法改正で一部施設について施設名称が改められたが、本調査は改正前に行われたため、ここでは改正前の名称を使用することとする。

以下では、里親に委託されている児童を「里親委託児」、養護施設、情緒障害児短期治療施設、教護院及び乳児院に措置されている児童をそれぞれ「養護施設児」「情緒障害児」「教護院児」「乳児院児」、母子寮に措置されている母子世帯の児童を「母子寮児」という。

なお、構成割合は四捨五入のため、内容の合計が総数に合わない場合もある。

結果の概要

I 児童の現在の状況

1 児童の現在の年齢（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、乳児院児、母子寮児）

調査日（平成10年2月1日）現在の年齢別児童数は表1のとおりであるが、児童数は里親委託児が2,175人、養護施設児が26,979人、情緒障害児が623人、教護院児が1,920人、乳児院児が2,720人、母子寮児が6,840人であった。

また、児童の平均年齢は、里親委託児9.2歳（前回9.6歳）、養護施設児10.2歳（前回11.1歳）、情緒障害児12.2歳（前回13.0歳）、教護院児14.2歳（前回14.6歳）、乳児院児1.0歳（前回1.4歳）母子寮児7.9歳（前回8.5歳）と前回調査に比べいずれも若干低くなっている。

表1 現在の年齢別児童数

	児童数						構成割合 (%)					
	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	教護院児	乳児院児	母子寮児	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	教護院児	乳児院児	母子寮児
総数	2,175	26,979	623	1,920	2,720	6,840	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
男	1,154	14,698	365	1,336	1,391	3,087	53.1	54.5	58.6	69.6	51.1	45.1
女	1,013	11,972	247	548	1,316	3,704	46.6	44.4	39.6	28.5	48.4	54.2
0歳	57	1	-	-	866	153	2.6	0.0	-	-	31.8	2.2
1歳	71	74	-	-	1,142	300	3.3	0.3	-	-	42.0	4.4
2歳	144	672	-	-	588	417	6.6	2.5	-	-	21.6	6.1
3歳	137	1,178	-	-	101	490	6.3	4.4	-	-	3.7	7.2
4歳	127	1,289	-	-	14	499	5.8	4.8	-	-	0.5	7.3
5歳	133	1,482	1	-	2	514	6.1	5.5	0.2	-	0.1	7.5
6歳	119	1,542	4	-	-	532	5.5	5.7	0.6	-	-	7.8
7歳	106	1,560	10	2	-	497	4.9	5.8	1.6	0.1	-	7.3
8歳	95	1,602	29	2	-	482	4.4	5.9	4.7	0.1	-	7.0
9歳	101	1,715	46	12	-	460	4.6	6.4	7.4	0.6	-	6.7
10歳	104	1,691	45	36	-	429	4.8	6.3	7.2	1.9	-	6.3
11歳	98	1,866	55	53	-	382	4.5	6.9	8.8	2.8	-	5.6
12歳	114	1,817	75	90	-	377	5.2	6.7	12.0	4.7	-	5.5
13歳	125	1,998	92	252	-	318	5.7	7.4	14.8	13.1	-	4.6
14歳	126	2,012	116	550	-	306	5.8	7.5	18.6	28.6	-	4.5
15歳	134	2,029	112	646	-	246	6.2	7.5	18.0	33.6	-	3.6
16歳	127	1,525	13	142	-	194	5.8	5.7	2.1	7.4	-	2.8
17歳	128	1,282	8	47	-	122	5.9	4.8	1.3	2.4	-	1.8
18歳以上	94	1,179	2	26	-	73	4.3	4.4	0.3	1.4	-	1.1
平均年齢	9.2歳	10.2歳	12.2歳	14.2歳	1.0歳	7.9歳

注) 総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

2 児童の委託（入所）時の年齢（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、乳児院児、母子寮児）

児童の委託時または入所時の年齢は、里親委託児及び養護施設児では2歳、情緒障害児では13歳、教護院児では14歳、乳児院児では0歳が最も多くなっており、母子寮児では0歳～5歳に集中している。

また、6歳未満で委託または入所した児童は、乳児院児の全部をはじめ、里親委託児で74.0%（前回74.6%）、養護施設児で55.3%（前回53.6%）、母子寮児で61.0%（前回60.1%）となっている。12歳以上で入所した児童は、情緒障害児で49.6%（前回54.2%）、教護院児で84.2%（前回89.6%）となっている。

表2 委託時又は入所時の年齢別児童数

	児童数						構成割合 (%)					
	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	教護院児	乳児院児	母子寮児	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	教護院児	乳児院児	母子寮児
総数	2,175	26,979	623	1,920	2,720	6,840	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0歳	247	289	-	-	2,103	936	11.4	1.1	-	-	77.3	13.7
1歳	270	1,058	-	-	511	704	12.4	3.9	-	-	18.8	10.3
2歳	497	5,556	-	-	51	686	22.9	20.6	-	-	1.9	10.0
3歳	284	3,636	-	-	6	644	13.1	13.5	-	-	0.2	9.4
4歳	174	2,376	-	-	1	642	8.0	8.8	-	-	0.0	9.4
5歳	134	2,000	2	-	-	558	6.2	7.4	0.3	-	-	8.2
6歳	127	2,185	25	-	-	492	5.8	8.1	4.0	-	-	7.2
7歳	76	1,521	33	7	-	386	3.5	5.6	5.3	0.4	-	5.6
8歳	58	1,383	49	12	-	361	2.7	5.1	7.9	0.6	-	5.3
9歳	49	1,286	62	28	-	312	2.3	4.8	10.0	1.5	-	4.6
10歳	26	1,101	69	59	-	250	1.2	4.1	11.1	3.1	-	3.7
11歳	35	951	53	103	-	219	1.6	3.5	8.5	5.4	-	3.2
12歳	37	933	93	208	-	165	1.7	3.5	14.9	10.8	-	2.4
13歳	28	829	104	556	-	122	1.3	3.1	16.7	29.0	-	1.8
14歳	24	709	87	604	-	120	1.1	2.6	14.0	31.5	-	1.8
15歳	25	385	19	211	-	51	1.2	1.4	3.0	11.0	-	0.7
16歳	12	106	2	28	-	33	0.6	0.4	0.3	1.5	-	0.5
17歳	14	41	4	7	-	14	0.6	0.2	0.6	0.4	-	0.2
18歳以上	2	5	-	2	-	7	0.1	0.0	-	0.1	-	0.1
平均年齢	3.9歳	5.7歳	10.9歳	13.2歳	0.2歳	4.9歳

注) 総数には、年齢不詳、入所後出生（母子寮児）を含む。

3 児童の委託（在所）期間（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、乳児院児）

児童の委託期間または在所期間は、里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、乳児院児のいずれの場合も「1年未満」が最も多く、期間が長くなるに従い児童数が漸減している。

また平均委託（在所）期間は、里親委託児5.4年（前回5.2年）、養護施設児4.8年（前回4.7年）、情緒障害児1.4年（前回1.2年）、教護院児1.0年（前回0.9年）、乳児院児1.1年（前回0.9年）となっており、前回調査と比べいずれも若干長くなっている。

表3 委託期間又は在所期間別児童数

	児 童 数					構 成 割 合 (%)				
	里 親 委託児	養 護 施設児	情 緒 障害児	教 護 院 児	乳 児 院 児	里 親 委託児	養 護 施設児	情 緒 障害児	教 護 院 児	乳 児 院 児
総 数	2,175	26,979	623	1,920	2,720	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1年未満	454	4,648	287	1,082	1,534	20.9	17.2	46.1	56.4	56.4
1年以上-2年未満	257	3,744	170	536	846	11.8	13.9	27.3	27.9	31.1
2年以上-3年未満	196	2,798	61	151	263	9.0	10.4	9.8	7.9	9.7
3年以上-4年未満	148	2,420	48	43	35	6.8	9.0	7.7	2.2	1.3
4年以上-5年未満	145	2,066	15	22	3	6.7	7.7	2.4	1.1	0.1
5年以上-6年未満	109	1,849	6	8	-	5.0	6.9	1.0	0.4	-
6年以上-7年未満	100	1,624	2	3	-	4.6	6.0	0.3	0.2	-
7年以上-8年未満	104	1,302	-	1	-	4.8	4.8	-	0.1	-
8年以上-9年未満	80	1,214	1	-	-	3.7	4.5	0.2	-	-
9年以上-10年未満	95	987	2	-	-	4.4	3.7	0.3	-	-
10年以上-11年未満	95	863	-	-	-	4.4	3.2	-	-	-
11年以上-12年未満	76	764	-	-	-	3.5	2.8	-	-	-
12年以上	259	1612	-	-	-	11.9	6.0	-	-	-
平均期間	5.4年	4.8年	1.4年	1.0年	1.1年

注) 総数には、期間不詳を含む。

4 里親の委託(入所)経路(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、乳児院児)

児童の委託経路または入所経路をみると、里親委託児では「乳児院から」39.4%(前回38.3%)、「家庭から」28.9%(前回26.4%)、「養護施設から」24.5%(前回26.4%)が多く、養護施設児、情緒障害児、教護院児及び乳児院児では「家庭から」が、それぞれ72.6%(前回72.8%)、92.6%(前回88.0%)、73.3%(前回69.9%)、83.1%(前回78.5%)とそのほとんどを占めている。

表4 委託経路又は入所経路別児童数

	総 数	家 庭 から	乳児院 から	養 護 施 設から	他の児童 福祉施設 から	里親家庭 から	家庭裁判 所から	その他 から	不詳
里親委託児	2,175	629	857	533	34	66	*	47	9
	100.0%	28.9%	39.4%	24.5%	1.6%	3.0%	*	2.2%	0.4%
養護施設児	26,979	19,587	4,884	676	515	252	21	536	508
	100.0%	72.6%	18.1%	2.5%	1.9%	0.9%	0.1%	2.0%	1.9%
情緒障害児	623	577	-	*	17	2	*	12	15
	100.0%	92.6%	-	*	2.7%	0.3%	*	1.9%	2.4%
教 護 院 児	1,920	1,407	*	173	32	9	227	25	47
	100.0%	73.3%	*	9.0%	1.7%	0.5%	11.8%	1.3%	2.4%
乳 児 院 児	2,720	2,260	18	*	*	2	*	432	8
	100.0%	83.1%	0.7%	*	*	0.1%	*	15.9%	0.3%

注) *は調査項目としていない。

「家庭裁判所から」は、入所前に住んでいた所に関係なく、保護処分により入所したことをいう。

5 児童の就学状況（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、母子寮児）

児童の就学状況をみると、里親委託児及び母子寮児では「就学前」が最も多く、それぞれ36.1%（前回34.4%）、38.8%（前回29.9%）となっており、養護施設児、情緒障害児及び教護院児では「中学校」が多く、それぞれ22.8%（前回26.2%）、54.1%（前回60.9%）、74.7%（前回80.9%）と前回調査よりいずれも漸減している。

なお、「中学校卒」が多いのは、里親委託児17.0%（前回15.8%）及び養護施設児15.5%（前回15.9%）となっている。

表5 就学状況別児童数

	総数	就学前	小学校 低学年 (1~3)	小学校 高学年 (4~6)	中学校	中 学 卒			不詳
						公立高 校	私立高 校	その他	
里親委託児	2,175	786	296	330	387	257	83	30	6
	100.0%	36.1%	13.6%	15.2%	17.8%	11.8%	3.8%	1.4%	0.3%
養護施設児	26,979	6,100	4,904	5,426	6,141	2,697	1,012	475	224
	100.0%	22.6%	18.2%	20.1%	22.8%	10.0%	3.8%	1.8%	0.8%
情緒障害児	623	1	82	168	337	8	6	13	8
	100.0%	0.2%	13.2%	27.0%	54.1%	1.3%	1.0%	2.1%	1.3%
教護院児	1,920	-	11	159	1,435	68	11	173	63
	100.0%	-	0.6%	8.3%	74.7%	3.5%	0.6%	9.0%	3.3%
母子寮児	6,840	2,653	1,423	1,249	897	283	87	55	193
	100.0%	38.8%	20.8%	18.3%	13.1%	4.1%	1.3%	0.8%	2.8%

6 児童の心身の状況（里親委託児、養護施設児、乳児院児、母子寮児）

児童の心身の状況については、里親委託児、養護施設児、乳児院児及び母子寮児において「障害等あり」の割合が、それぞれ8.9%（前回6.0%）、10.3%（前回9.5%）、28.1%（前回18.6%）、8.4%（前回8.1%）といずれも増加している。新規に調査した情緒障害児、教護院児において「障害等あり」の割合はそれぞれ48.2%、11.1%であった。

表6 心身の状況別児童数

	総数	障害等 あり	障害等あり内訳（重複回答）						
			身体 虚弱	肢 体 不自由	視聴覚 障 害	言語 障害	知的 障害	てん かん	その他 の 障害等
里親委託児	2,175	193	39	20	24	14	70	17	35
	100.0%	8.9%	1.8%	0.9%	1.1%	0.6%	3.2%	0.8%	1.6%
養護施設児	26,979	2,766	573	124	210	308	1,125	375	870
	100.0%	10.3%	2.1%	0.5%	0.8%	1.1%	4.2%	1.4%	3.2%
情緒障害児	623	300	24	2	5	4	19	19	254
	100.0%	48.2%	3.9%	0.3%	0.8%	0.6%	3.0%	3.0%	40.8%
教護院児	1,920	213	48	4	20	8	60	33	80
	100.0%	11.1%	2.5%	0.2%	1.0%	0.4%	3.1%	1.7%	4.2%
乳児院児	2,720	764	549	84	60	59	45	36	172
	100.0%	28.1%	20.2%	3.1%	2.2%	2.2%	1.7%	1.3%	6.3%
母子寮児	6,840	575	231	28	39	52	98	64	194
	100.0%	8.4%	3.4%	0.4%	0.6%	0.8%	1.4%	0.9%	2.8%

7 児童の罹患傾向（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、乳児院児、母子寮児）

児童の罹患傾向をみると、「罹患傾向あり」が里親委託児で12.2%（前回11.9%）、養護施設児で16.0%（前回13.7%）、情緒障害児で26.2%（前回13.2%）、教護院児で12.6%（前回9.7%）、乳児院児で62.8%（前回49.3%）、母子寮児で29.3%（前回24.3%）となっており、いずれも前回調査より増えている。

表7 罹患傾向別児童数

	総数	罹患傾向あり	罹患状況内訳（重複回答）					
			ひきつけたことがある	下痢をしやすい	よく熱をだす	風邪をひきやすい	湿疹が出やすい	その他
里親委託児	2,175	265	19	14	25	104	56	105
	100.0%	12.2%	0.9%	0.6%	1.1%	4.8%	2.6%	4.8%
養護施設児	26,979	4,319	345	291	912	1,835	1,070	1,272
	100.0%	16.0%	1.3%	1.1%	3.4%	6.8%	4.0%	4.7%
情緒障害児	623	163	4	23	44	26	22	79
	100.0%	26.2%	0.6%	3.7%	7.1%	4.2%	3.5%	12.7%
教護院児	1,920	241	13	19	37	61	67	88
	100.0%	12.6%	0.7%	1.0%	1.9%	3.2%	3.5%	4.6%
乳児院児	2,720	1,707	160	291	747	1,006	409	330
	100.0%	62.8%	5.9%	10.7%	27.5%	37.0%	15.0%	12.1%
母子寮児	6,840	2,007	193	265	621	1,279	242	420
	100.0%	29.3%	2.8%	3.9%	9.1%	18.7%	3.5%	6.1%

8 特に指導上留意している点（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、母子寮児）

特に指導上留意している点については、「留意している点あり」が里親委託児で87.4%（前回58.4%）、養護施設児で96.2%（前回83.1%）、情緒障害児で97.8%（前回100.0%）、教護院児で98.5%（前回98.0%）、母子寮児で86.6%（前回61.9%）となっており、特に里親委託児、養護施設児、母子寮児の増加が著しい。

「心の安定」を留意点としてあげているのは共通な傾向であるが、里親委託児及び養護施設児では「しつけ」（それぞれ33.6%、45.5%）、情緒障害児では「家族との関係」（75.0%）及び「心理的対応」（70.0%）、教護院児では「家族との関係」（57.4%）及び「社会規範」（54.4%）などが多くなっている。

表8-1 特に指導上留意している点別児童数

	総数	留意している点あり	留意点（重複回答）						
			心の安定	友人との関係	家族との関係	学習の興味・関心	しつけ	心理的対応	社会規範
里親委託児	2,175	1,900	939	443	258	508	731	*	240
	100.0%	87.4%	43.2%	20.4%	11.9%	23.4%	33.6%	*	11.0%
養護施設児	26,979	25,957	15,058	7,931	10,520	9,717	12,262	1,133	4,490
	100.0%	96.2%	55.8%	29.4%	39.0%	36.0%	45.5%	4.2%	16.6%
情緒障害児	623	609	415	402	467	146	166	436	124
	100.0%	97.8%	66.6%	64.5%	75.0%	23.4%	26.6%	70.0%	19.9%
教護院児	1,920	1,891	1,096	840	1,103	708	736	96	1,044
	100.0%	98.5%	57.1%	43.8%	57.4%	36.9%	38.3%	5.0%	54.4%
母子寮児	6,840	5,925	2,840	2,201	1,952	1,773	2,924	*	715
	100.0%	86.6%	41.5%	32.2%	28.5%	25.9%	42.7%	*	10.5%

注）*は、調査項目としていない。

表8-2 特に指導上留意している点別児童数

	留意点 (重複回答)									
	里親 (職員)との関係	思いやり	将来設計	男女交際	自主性積極性	自己表現力	文化・生活習慣	経済観念	医療的対応	就職及び職業の安定
里親委託児	631 29.0%	421 19.4%	226 10.4%	52 2.4%	300 13.8%	225 10.3%	169 7.8%	96 4.4%	94 4.3%	73 3.4%
養護施設児	4,772 17.7%	7,923 29.4%	4,228 15.7%	1,548 5.7%	5,595 20.7%	7,109 26.4%	3,966 14.7%	2,550 9.5%	1,306 4.8%	1,119 4.1%
情緒障害児	209 33.5%	82 13.2%	61 9.8%	38 6.1%	137 22.0%	287 46.1%	94 15.1%	23 3.7%	84 13.5%	14 2.2%
教護院児	437 22.8%	563 29.3%	479 24.9%	325 16.9%	589 30.7%	628 32.7%	361 18.8%	118 6.1%	97 5.1%	180 9.4%
母子寮児	488 7.1%	1,812 26.5%	388 5.7%	138 2.0%	980 14.3%	1,077 15.7%	853 12.5%	263 3.8%	206 3.0%	63 0.9%

9 学業の状況 (里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児、母子寮児)

学業の状況については、里親委託児、養護施設児及び母子寮児では「特に問題なし」が最も高く、その割合はそれぞれ45.1%、48.5%、42.8%となっているが、情緒障害児及び教護院児では「遅れがある」が最も高く、その割合はそれぞれ57.8%、65.6%となっている。

表9 学業の状況別児童数

	総数	すぐれている	特に問題なし	遅れがある	不詳
里親委託児	2,175 100.0%	141 6.5%	980 45.1%	258 11.9%	796 36.6%
養護施設児	26,979 100.0%	990 3.7%	13,091 48.5%	6,783 25.1%	6,115 22.7%
情緒障害児	623 100.0%	18 2.9%	232 37.2%	360 57.8%	13 2.1%
教護院児	1,920 100.0%	29 1.5%	599 31.2%	1,259 65.6%	33 1.7%
母子寮児	6,840 100.0%	236 3.5%	2,929 42.8%	832 12.2%	2,843 41.6%

10 通学状況 (里親委託児、養護施設児、情緒障害児、母子寮児)

通学状況については、里親委託児、養護施設児、情緒障害児及び母子寮児ともに「普通に通学」が最も多く、その割合はそれぞれ61.6%、74.8%、81.5%、53.6%となっている。

表10 通学状況別児童数

	総数	普通に通学	欠席しがち	不詳
里親委託児	2,175 100.0%	1,340 61.6%	39 1.8%	796 36.6%
養護施設児	26,979 100.0%	20,182 74.8%	577 2.1%	6,220 23.1%
情緒障害児	623 100.0%	508 81.5%	98 15.7%	17 2.7%
母子寮児	6,840 100.0%	3,663 53.6%	334 4.9%	2,843 41.6%